

「新しい時代の献体のあり方を探る」

日時 平成22年3月20日(土) 13:00～16:00

場所 札幌医科大学 記念ホール

司会 フリーアナウンサー 有江活子

- 1, 札幌医科大学の献体利用の現状と本学倫理委員会指針
札幌医科大学 解剖学第2講座 藤宮峯子
- 2, 献体の利用に関する法的バックグラウンド
弁護士 北口雅章
- 3, 我が国における解剖の法的、倫理的側面
札幌医科大学 法学・社会学講座 旗手俊彦
- 4, 献体を用いた医療技術研修に必要な技術面での問題点
MERI Japan 理事長 蜂谷裕道
- 5, 白菊会会員から見た献体の利用
札幌医科大学白菊会会長 浅黄谷登志
- 6, 新しい時代の献体のあり方に関して
札幌医科大学 解剖学第1講座 辰巳治之
- 7, パネルディスカッション

＜公開講座の趣旨＞

平成19年度に札幌医科大学市民フォーラム「献体について考えた事がありますか？」を開催し、650人の市民参加が得られました。

その後も本学では凍結人体標本を用いた研究や医療技術研修を活発に行っています。また解剖学的研究や医療技術研修以外にも先端医療・先端医学研究を盛り込んだ「献体の未固定標本利用に関する指針」が、本学倫理委員会で制定されました。

今回は、献体の利用に関する法的バックグラウンドや日本の現状に関して専門家のお話を聞き、新しい時代の献体のあり方を考えるために公開講座を企画しました。

主催：札幌医科大学 解剖学講座、後援：MERI Japan

～札幌医科大学は2010年6月25日、開学60周年(創基65周年)を迎えます～